

《推薦します》(順不同・敬称略)

## 協調会の本音を示す新史料

京都大学名誉教授 (日本近代史・故人) 松尾尊兌

日本近代史で否定的イメージをもたれていた協調会についての本格的な研究は、高橋彦博氏(本復刻の解説者)をリード役として前世紀末より急速に発展してきた。これはベルリンの壁の崩壊にはじまる世界史の大転換と無関係ではあるまい。今回の2誌の復刻は、調査研究誌『社会政策時報』とちがい、労働者向き、あるいは社会教育のための雑誌であるだけに、より協調会の本音を示すものとして、研究のさらなる発展に貢献すること疑いない。私個人の関心からすれば、常務理事田澤義輔が関東大震災下の朝鮮人虐殺事件を批判した文章の全文を読むことができ有難かった。

## 社会政策研究の原点にある資料

鹿児島大学法科大学院教授 (社会保障法) 伊藤周平

2009年8月の衆議院選挙で政権交代が実現し、民主党政権が成立したが、その主な原因が、自民・公明党政権(とりわけ2001年から5年間にわたる小泉政権)のもとで推進されてきた、市場主義にもとづく新自由主義政策により、格差や貧困が拡大し、雇用保障や社会保障がズタズタにされ、生活破壊が深刻化したことに対する有権者の反発にあったことは間違いない。そして、危機的状況にある雇用保障・社会保障をいかに再建していくかが問われている今、同時に、再建の方向性を示す社会政策研究が求められている今、社会政策研究の原点の資料に立ち返るという意味で、『人と人』の復刊は、まさに時宜を得たものといえよう。強く推薦したい。

## 不況の今こそこの大衆誌に学びたい

公益財団法人大原記念労働科学研究所常務理事・所長 酒井一博

労働雑誌『人と人』が復刻されます。法政大学大原社会問題研究所所蔵の第一級の資料です。協調会が1921(大正10)年に創刊。個の人格成長を図りながら、一方で資本と労働の共助共生の教化を企図した大衆誌です。時代のうねりの中で雑誌の性格も変質、そして突然の廃刊。このプロセスから時代を読み取ることも興味津々。政権交代のもとで、産業不況からの脱出をめざす現在こそ、原点復帰。「人と人」の関係性の見直しに、この大衆誌のエネルギーと戦略に学びたい。

## 柏書房の協調会関連史料

### 大正～昭和初期の労働運動の動向を知るには不可欠の一次資料

#### 【協調会史料】『産業福利』復刻版 全3回配本

法政大学大原社会問題研究所=監修 協調会研究会=編集・解説

第1回配本：A4判2710頁(全7巻+別巻) 揃定価(本体280,000円+税) ISBN978-4-7601-3098-6

第2回配本：A4判2876頁(全8巻) 揃定価(本体280,000円+税) ISBN978-4-7601-3266-9

第3回配本：A4判2524頁(全8巻) 揃定価(本体280,000円+税) ISBN978-4-7601-3444-1

#### 【協調会史料】都市・農村生活調査資料集成 全2期

法政大学大原社会問題研究所=監修 協調会研究会=編集・解説

第I期：A5判4760頁(全12巻) 揃定価(本体250,000円+税) ISBN4-7601-2104-8

第II期：A5判6080頁(全12巻) 揃定価(本体250,000円+税) ISBN4-7601-2733-X

# 協調会史料 労働雑誌 『人と人』

## 復刻版 【全2回配本】

【監修】 法政大学大原社会問題研究所  
【編集・解説】 協調会研究会  
(梅田俊英・高橋彦博・横関至)

《第1回配本》  
【体裁】 A5判上製・全11巻・5,882頁  
【揃定価】 本体280,000円+税 ※分売不可  
ISBN978-4-7601-3695-7

《第2回配本》  
【体裁】 A5判上製・全11巻・5,500頁  
【揃定価】 本体280,000円+税 ※分売不可  
ISBN978-4-7601-3741-1

お奨めします  
労働問題研究者  
労務管理研究者  
公衆衛生研究者  
社会福祉研究者  
産業史研究者  
経営史研究者  
労働法研究者  
社会政策研究者  
労働運動史研究者  
日本近代史研究者  
日本社会史研究者  
生活学研究者  
大学・公共図書館

## 労働問題を〈人と人との関係〉の問題として 捉えた最初期の大衆啓蒙誌を復刻

『人と人』は、「労働問題は人の問題であり、人と人との関係である」との視点から、ロシア革命、第一次大戦終結から間もない一九二二(大正一〇)年四月に創刊され、広く労働者の購読に供する大衆的な労働雑誌として、関東大震災の社会的混乱を経て、普通選挙が実施される直前の一九二八(昭和三)年一月まで七年間にわたり協調会が発行した月刊大衆誌。その全八二号を全二期に分けて完全復刻した。

六大都市をはじめ、北九州における鉱山所在地、長野・群馬など機業地域、阪神、中国その他大工場所在地に主な読者を持ち、発行部数は毎月二万五〇〇〇部、農村部にも漸次普及していった。

常務理事・添田敬一郎や副会長・洪沢栄一ら協調会幹部が積極的に筆を執り、その内容は、労働者が異口同音に求めた「教育の機会均等」の必要性を論じながら、他方では政党政治黎明期の特に無産政党の動向を詳報するなど、協調会が協調主義を説く対象が被救恤的窮民としての労働者から選挙権を持った労働者に転化していく情勢を受けて、「教育」と「政治」という二つの現実的契機を対象としていた。さらには、小説や映画の紹介など、文化記事も充実していた。

第1回配本では、『人と人』の第一巻第一号〜第四巻第二二号を復刻し、あわせて専門家による詳細な解説・解題を付した。第2回配本では、『人と人』の第五巻第一号〜第八巻第一号に加え、協調会が設立した「社会政策講習所」を前身にもつ社会政策学院発行の同窓会誌にして社会教育雑誌ともいえる『同窓会会報』『主潮』全号を収録、付録として『人と人』全目次も併載した。

〒113-0033 東京都文京区本郷 2-15-13  
Tel.03-3830-1891 Fax.03-3830-5337  
URL <http://www.kashiwashobo.co.jp>  
E-mail [eigy@kashiwashobo.co.jp](mailto:eigy@kashiwashobo.co.jp)

柏書房

取 扱 店	
-------------	--



